

みんなできっしょに大作戦

半田市市民協働推進計画



半田市観光
マスコットキャラクター
「だし丸くん」

新美南古童話
イメージキャラクター
「こん吉くん」

【改訂版】

平成29年7月
半田市



はじめに

近年、社会を取り巻く状況が急激に変化し、地域が抱える課題も以前とは比較にならないほど多様化し、複雑さを増してきています。誰もが求める豊かで幸せな暮らしに対する考え方も多様化してきており、身近できめ細やかな公共的サービスの必要性がますます高まっています。



こうした課題をいち早く解決し、市民一人ひとりが満足できるまちをつくるためには、行政とともに市民のみなさまと一緒にまちづくりを進めていただくことが最も効果的です。

半田市は、以前から自治区を始めとする地域活動や、NPOを始めとする市民活動の盛んなまちです。この素晴らしい半田の風土、気風を活かして、半田ならではの協働を進めていきたいと考え、平成24年3月に「半田市市民協働推進計画（愛称：みんなでいっしょに大作戦）」を策定しました。

本計画策定当初、平成24年度から平成28年度までの5か年計画としていましたが、これまでの進捗状況を踏まえ見直しを行い、「第6次半田市総合計画」の計画期間に合わせて4年間期間を延長し、平成32年度までの計画として、さらなる協働のまちづくりに取り組んでまいります。

このたびの計画の見直しにあたり、多大なご尽力をいただきました市民協働推進計画改訂検討会議委員の皆さまに感謝を申し上げますとともに、市民の皆さまにおかれましても今後とも計画の実現に向け、『みんなでいっしょに大作戦』にご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年7月

半田市長 神原純夫



コラム 『おいしいカレー』

みんなで おいしいカレーを創ろう！

あなたの好きなカレーの具材は・・・何を入れますか？

お肉、ジャガイモ、玉ネギ、ニンジンなど入れて作りますよね。



お肉と野菜、まったく違う材料を入れて、コトコト煮込んでおいしいカレーができます。

お肉と野菜が、それぞれのおいしさ、それぞれが持っているいい味を出して、お互いに出しゃばらず、お互いのいいところを持ち寄っています。

そして、とってもおいしいカレーができるのです。

きっと、ジャガイモだけのカレーじゃあまりおいしくないですよね。

協働（コラボレーション）も同じです。

いろんな人と人が出会い、お互いの立場や違いを認識し尊重することから始まります。

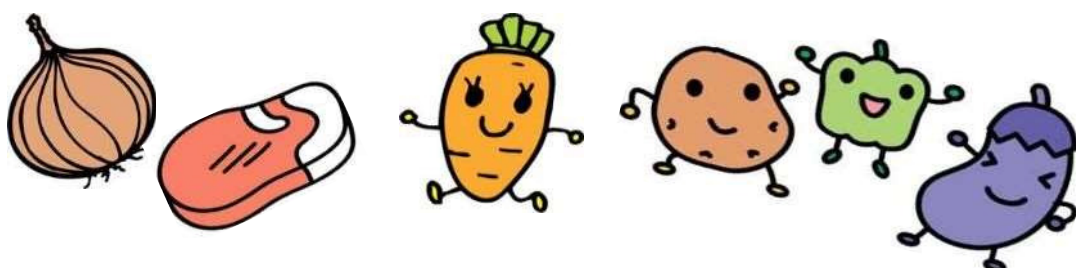
そして、協働のプロセス（過程）を大切にして、人の輪がどんどん広がる楽しさを実感しましょう。

そして、人と人との「つながり」や一人ひとりの「気づき」が、わたしたちのまちを住みやすいまちにします。自分たちが住んでいるまちは、自分たちで良くしていく、その思い

はごくごく普通のことで、難しいことではありません。

あなたとだれかが出会い、お互いを知り、お互いの力を合わせ、助け合い、支え合っていくことが「協働」の第一歩です。

さあ！みんなでいっしょに協働という『おいしいカレー』を創りましょう！





*** 目 次 ***

第1章 協働の基礎知識

■協働ってなあに？	1
■なぜ協働が必要なの？	2
■協働のまちづくりを進めるメリットは？	3
■何を協働するの？	4
■協働するときに大切なこと	5
■だれとだれが協働するの？ 協働を進めるためにそれぞれに期待される役割	7
■まず何をしたらいいの？	9
■協働についての相談窓口はどこですか？	10
～これまでのたくさんの協働の取り組み～	11





第2章 計画策定（改訂）にあたって

1 計画の趣旨	17
2 計画期間	18
3 半田市における市民協働の現状と課題	19

第3章 協働のまちづくりを推進するために

施策体系	21
1 協働意識の醸成	23
2 コミュニティの活動支援	24
3 ボランティア・市民活動団体の活動支援	25
4 『はんだまちづくりひろば』の機能強化	26
5 情報共有の推進	27
6 財政的支援	28
7 協働の仕組みづくり	29
8 市民と市民の協働の推進	30
9 協働推進体制の整備と検証体制の確立	31

第4章 協働するときのポイント

協働するときのポイント	32
協働のためのチェックシート	33

参考資料

これから取り組みたい協働事業の提案	35
【平成24年3月策定時】	
その1 行政からの提案	
その2 市民からの提案	
アンケート調査結果	39
半田市市民協働推進計画改訂検討会議委員名簿	45

